

核兵器全面禁止条約の交渉開始を

## 香川県原水協ニュース

No.

141

2020年5月18日

原水爆禁止香川県協議会

電話・FAX087-831-5350

### 香川県庁をスタートし、西讃地区へ！！

浜田県知事、綾市長からメッセージ、そして宇多津町では三役からの激励をいただきました

#### 香川県庁での出発式

広聴広報課大庭康博課長から、東京オリンピック・パラリンピック延期の中でも平和行進をおこなうことが大切と指摘し、その成功を祈りますと前置きをして、浜田知事のメッセージを代読。

メッセージ紹介：政府が昨年国連に提出した「核廃絶決議案」が160か国の支持を得て採択したが、その特徴は未来志向の対話の重要性を強調したと解説。そして核兵器の全面禁止・廃絶や被爆者の援護・連帯を訴える平和行進に敬意を表し一層の広がりを期待する。(概略)

檜香川県原水協代表理事の挨拶

核兵器禁止条約は採択から3年で81か国の署名・36か国の批准となっているが、日本政府は署名・批准していない。この促進のため、香川県内での意見書採択の促進を強調し挨拶としました。なお進行は秋山時貞県議でした。

#### 坂出市での平和行進激励

新庁舎での平和行進激励となりました。綾坂出市長からは、この新型コロナウイルスで生活の形が変わるのではないかと感想を述べながら、暑い中での平和行進への労いをいただきました。メッセージは岩部原水協筆頭代表に渡されました。また、吉田さんから飴玉付きの署名10人分！メッセージの紹介：

核兵器の廃絶は人類共通の願いであるが、現状はまだ多くの困難があると指摘。坂出市としては戦争の悲惨さを伝え、平和を守る行政を非核平和都市宣言の精神で、草の根運動と手を携えて努力したいと、結んでいます。(概略)

#### 宇多津町での激励

雨が少し降る中で、町長はじめ議長・教育長が激励のために参加。谷川俊博町長は、新型コロナウイルスへの対応で、平和行進が行進カーのみとなった。被爆75年と1世紀の4分の3が経過したが、戦争が二度と起こらないように祈っている。核兵器禁止条約の署名・批准も進んでいるが、この発効を望むとし、最後に素晴らしい行進を願うと祈念。神出議員が進行し、町長から岩部筆頭代表にペナントが渡されました。

県庁で大庭課長とともに



綾坂出市長・野角市議らと



宇多津町三役と神出町議ら

